

五戸町立小・中学校統合計画 (改定案)

令和 5 年 5 月策定

令和 7 年 月改定

五戸町教育委員会

目 次

は じ め に	2
1 統合計画	4
(1) 中学校	4
(2) 小学校	4
2 統合の必要性	5
3 統合基本方針	6
資 料	7
1 児童生徒数の推移	7
2 学級数の今後の見通し	8
3 複式学級の状況	8
4 老朽化が顕著な学校	9
5 各学校の位置	10
6 経緯	11

は じ め に

昨今の急激な社会構造の変化は、歯止めのかからない少子化の進行、核家族化、子どもと緊密にかかわる保護者や地域住民の価値観の多様化による結束力の低下など、様々な社会現象をもたらし、そのことにより児童生徒や学校を取り巻く環境も大きく変化しています。

文部科学省では、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等について、平成27年1月27日付け「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引の策定について（通知）」において、「学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望まれます。～省略～」と示しています。

当町においては、これまで学校と保護者、地域が一体となって、多くの成果をあげています。一方で、いじめや不登校の顕在化、特別な支援を必要とする児童生徒の増加、複式学級の増加、部活動における部員不足、そのことによる大会等への参加断念、校舎の老朽化など、多様な課題に直面している状況にあります。

こういった状況から、今、子どもたちには時代の変化を受け止め未来を力強く切り拓いていく力を身に付けさせることが求められており、そのためには、子どもたちにとって、よりよい教育環境を整備し提供することが優先されるべきこととなっています。

五戸町教育委員会では、これらの現状に鑑み将来の五戸町の子どもたちにどのような教育環境がふさわしいのか検討するため、学校教育関係者、保護者、学識経験者等による第二次五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会を組織し、五戸町立小・中学校の適正配置について協議していただき、それを基に「五戸町立小・中学校統合計画（案）」を作成し、保護者や地区住民などへの説明を重ね、令和5年5月に「五戸町立小・中学校統合計画」を策定しました。

計画に基づき、川内地区の保護者、地域住民の代表、有識者等による川内地区小学校適正配置検討委員会を設置し、小学校の適正配置等について更なる検討を進めるうち、小学校統合に関する具体的な内容を盛り込むため計画を改定する必要性が生じました。検討委員会の検討結果を基にした改定案の方向性を保護者や地区住民に示し、寄せられた様々な意見を取り入れて、概ね理解を得るに至りました。

この度、五戸町の子どもたちが健やかに成長するとともに、五戸町教育

がますます発展していくことを願い、ここに「五戸町立小・中学校統合計画」を改定いたします。

1 統合計画

(1) 中学校

①学校数

現在 3 校を 1 校とする。

五戸中学校	}	統合
川内中学校		
倉石中学校		

②時期

計画策定後 5 年以内とする。

③統合場所

現在の五戸中学校敷地内とし校舎等を改築する。

(2) 小学校

①学校数

現在 4 校を 3 校とする。切谷内小学校と上市川小学校を統合し、川内小学校とする。

五戸小学校	→	存続
切谷内小学校	}	統合（川内小学校）
上市川小学校		
倉石小学校	→	存続

②時期

令和 9 年 4 月開校を目指す。

③統合場所

当面、現在の上市川小学校とする。ただし、校舎の老朽化が進んでいくことから、今後、移転や改修を検討していく。

2 統合の必要性

現代社会の変化の速さや、今後増々グローバル化、多様化するであろう社会情勢などを考えた時に、児童生徒には引き続き「確かな学力」としての知識、技能、思考力、想像力を育むと共に、「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく身に付けさせることが重要であり、その上で、「自ら考え、自ら判断し、行動できる実践力を備え、力強く将来を切り拓いていく人財」に育成することが求められている。

このような中で、小人数での指導は、人間関係が固定化されることから集団から得られる刺激や情報量に限りが生じがちで、そのことから互いに切磋琢磨し向上しようとする意欲やたくましさを育てる点で課題があるとされている。

加えて、興味関心の高い部活動を選択できない、希望する自治的活動が制限される、男女のバランスを欠いた学級編制になるなども弊害となっている。

さらに、当町の学校施設は老朽化が進み、今後、時が経てば経つほど修繕費などの経費がかさむと懸念される学校もあり、児童生徒の安全を確保する観点からも、出来るだけ早く改善することが求められている。

以上のことから、第二次五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会では、「児童生徒数の著しい減少」「望ましい集団活動の確保と充実」「教員数減による免許教科外指導等の学校運営上の懸念」「特色ある教育活動及び学校の活性化」「部活動の運営及び設置数の維持」「学校施設の老朽化」など、総合的な見地から学校の統合は避けて通れないとの結論に至っており、学校の統合を推進するものである。

なお、学校統合により主に期待できるものを次に掲げる。

(1) 子どもの夢と志を育む教育をめざして

学校本来の目的の一つでもある集団的機能についての成果が発揮される一定程度の学級・学年・学校の規模での修学が可能となる。

また、教員の適正配置が可能となり、学年に応じた指導時間の確保と指導の充実を確かなものにすることができる。

(2) 特色ある教育の構築をめざして

五戸町教育目標の前文にある「ふるさとを愛し、時代の変化を受け止め、未来を切り拓いていく人づくり」の具現を進め、特色ある教育を構築するための選択肢が広がる。

(3) 新しい教育に対応した施設・設備の充実をめざして

新しい教育に対応した施設・設備へと転換し、教育環境のより一層の充実を図ることができる。

また、施設・設備等の維持管理費の節減を図り、効率的な教育行政の推進が可能となる。

3 統合基本方針

(1) 住民理解について

学校の持つ地域的意義や、統合後の学校における児童生徒の教育効果に及ぼす影響など、様々な問題点を考慮し、保護者・地域住民の理解を求めて実施する。

(2) 通学手段について

通学手段に関しては、関係者の要望や意見を集約し、登下校時の安全面への対策も含め検討する。

特に通学バスに関しては、十分な検討協議を重ね熟考する。

(3) 教員の配置等について

児童の不安や動揺を最小限にするために、教員の配置等に配慮する。

(4) 学校間の協議結果の尊重について

教育課程編成や学校運営・教育方法などは、関係する学校間の協議結果を尊重する。

(5) 学校の歴史や伝統の継承について

学校の歴史や伝統を継承できるよう配慮する。

(6) 小学校の配置について

小学校は地域における学校の果たす役割の重要性に鑑み、現在の中学校区に1校の3校体制を当面維持することを念頭に置くものとする。

(7) 学校統合準備委員会（仮称）について

統合決定後の具体的な推進にあたっては、学校統合準備委員会（仮称）を発足させ、統合に向けた諸条件を検討する。

なお、学校統合準備委員会（仮称）の事務局は、教育委員会が担当する。

資 料

1 児童生徒数の推移

当町の児童生徒数は、旧五戸町は昭和35年の5,499名、旧倉石村は昭和33年の1,137名がピークであり、その後は社会・経済状況の変化による人口の流失や少子化などにより大幅に減少した。平成16年7月の五戸町と倉石村との合併当時は総人口が21,316名、児童生徒数は1,817名であった。

平成19年には五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会が設置され、当時の児童生徒数は1,629名で、平成25年4月には中市小学校、又重小学校、石沢小学校が統合し倉石小学校となり、平成26年4月には五戸小学校、蛭川小学校、豊間内小学校、五戸南小学校が統合し五戸小学校となり、倉石小学校は旧中市小学校を利活用、五戸小学校は新築された。

以後小学校4校、中学校3校となり、児童生徒数は令和6年5月1日現在865名まで減少している。各学校の規模は表に示すとおりであり、児童生徒の減少傾向には歯止めがかからない現状にある。

○過去3年間の児童生徒数

学校名	R 3 年度 (人)	R 4 年度 (人)	R 5 年度 (人)	R 6 年度 (人)
五戸小学校	376(15)	361(17)	357(15)	357(17)
切谷内小学校	57(5)	54(5)	50(6)	52 (7)
上市川小学校	95(1)	81(1)	78(2)	78(2)
倉石小学校	83(2)	81(2)	76(2)	71(3)
小学校計	611(23)	577(25)	561(25)	558(29)
五戸中学校	192(3)	190(7)	192(15)	186(16)
川内中学校	69(2)	84(2)	76(3)	75(5)
倉石中学校	51(2)	44(2)	51(3)	46(1)
中学校計	312(7)	318(11)	319(21)	307(22)
合 計	923(30)	895(36)	880(46)	865(51)

※ () は、特別支援の数(内数)

2 学級数の今後の見通し

学校名	学年	R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11		R 12	
		人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
五戸小	1 年	51	2	56	2	53	2	48	2	39	2	27	1	39	2
	2 年	62	2	51	2	56	2	53	2	48	2	39	2	27	1
	3 年	52	2	62	2	51	2	56	2	53	2	48	2	39	2
	4 年	55	2	52	2	62	2	51	2	56	2	53	2	48	2
	5 年	64	2	55	2	52	2	62	2	51	2	56	2	53	2
	6 年	56	2	64	2	55	2	52	2	62	2	51	2	56	2
計		340	12	340	12	329	12	322	12	309	12	274	11	262	11
切谷内小	1 年	8	1	1	1	2	1	7	1	3	1	2	1	2	1
	2 年	4	1	8	1	1	1	2	1	7	1	3	1	2	1
	3 年	8	1	4	1	8	1	1	1	2	1	7	1	3	1
	4 年	9	1	8	1	4	1	8	1	1	1	2	1	7	1
	5 年	5	1	9	1	8	1	4	1	8	1	1	1	2	1
	6 年	11	1	5	1	9	1	8	1	4	1	8	1	1	1
計		45	4	35	4	32	4	30	4	25	4	23	3	17	3
上市川小	1 年	16	1	9	1	13	1	7	1	15	1	9	1	10	1
	2 年	9	1	16	1	9	1	13	1	7	1	15	1	9	1
	3 年	10	1	9	1	16	1	9	1	13	1	7	1	15	1
	4 年	13	1	10	1	9	1	16	1	9	1	13	1	7	1
	5 年	13	1	13	1	10	1	9	1	16	1	9	1	13	1
	6 年	15	1	13	1	13	1	10	1	9	1	16	1	9	1
計		76	6	70	6	70	6	64	6	69	6	69	6	63	6
倉石小	1 年	6	1	11	1	9	1	11	1	4	1	6	1	7	1
	2 年	13	1	6	1	11	1	9	1	11	1	4	1	6	1
	3 年	10	1	13	1	6	1	11	1	9	1	11	1	4	1
	4 年	10	1	10	1	13	1	6	1	11	1	9	1	11	1
	5 年	16	1	10	1	10	1	13	1	6	1	11	1	9	1
	6 年	13	1	16	1	10	1	10	1	13	1	6	1	11	1
計		68	6	66	6	59	6	60	6	54	6	47	5	48	5
五戸中	1 年	50	2	58	2	64	2	55	2	52	2	62	2	51	2
	2 年	57	2	50	2	58	2	64	2	55	2	52	2	62	2
	3 年	63	2	57	2	50	2	58	2	64	2	55	2	52	2
計		170	6	165	6	172	6	177	6	171	6	169	6	165	6
川内中	1 年	21	1	26	1	18	1	22	1	18	1	13	1	24	1
	2 年	18	1	21	1	26	1	18	1	22	1	18	1	13	1
	3 年	31	1	18	1	21	1	26	1	18	1	22	1	18	1
計		70	3	65	3	65	3	66	3	58	3	53	3	55	3
倉石中	1 年	17	1	12	1	16	1	10	1	10	1	13	1	6	1
	2 年	19	1	17	1	12	1	16	1	10	1	10	1	13	1
	3 年	9	1	19	1	17	1	12	1	16	1	10	1	10	1
計		45	3	48	3	45	3	38	3	36	3	33	3	29	3

※ 特別支援学級の児童生徒数を除く

※ は複式学級

3 複式学級の状況

町内の複式学級は、令和6年度現在、切谷内小学校の2・3年、4・5年となっている。

※小学校複式学級要件

- ・1年生を除く連続する2学年で16人以下の場合複式学級となる。
- ・1年生については2年生と合わせ8人以下の場合複式学級となる。

4 老朽化が顕著な学校

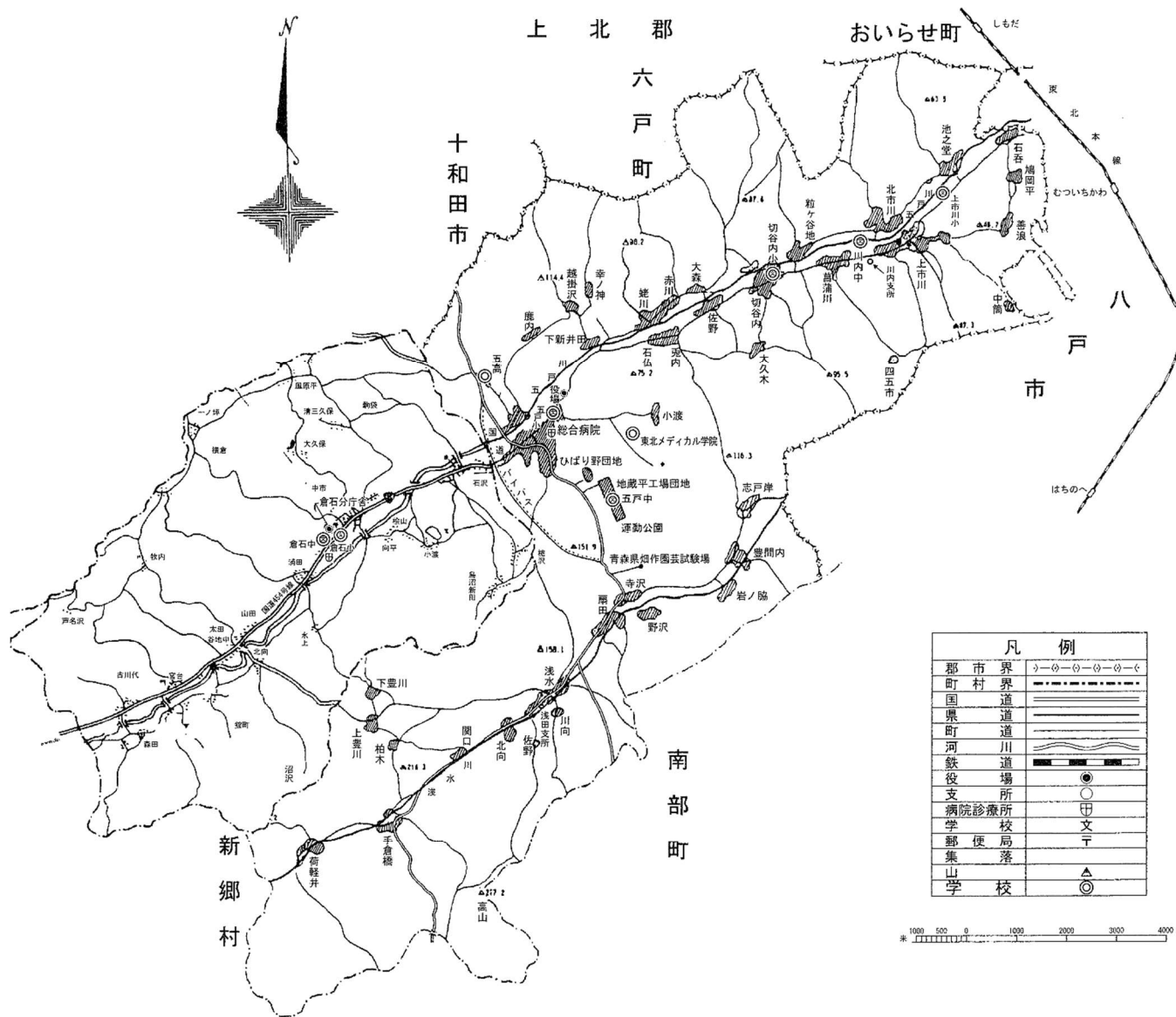
五戸中学校校舎は長寿命化計画の健全度が100点中28点、また、切谷内小学校校舎は29点となっている。

この2校は特に老朽化が著しく、今後、時が経てば経つほど修繕費などの経費がかさむものと思われる。児童生徒の安全を確保するためにも、できるだけ早く建て替えが必要な状況にある。

○校舎等の状況（令和6年3月現在）

施設名	建築年	経過年	長寿命化計画 (R2) 健全度	構造
五戸小学校 校舎	H26	10年	98点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	H26	10年	100点	鉄筋コンクリート造
切谷内小学校 校舎	S50	49年	29点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	H7	29年	75点	鉄筋コンクリート造
上市川小学校 校舎	S49	50年	43点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	S50	49年	72点	鉄筋コンクリート造
倉石小学校 校舎	H3	33年	75点	鉄骨造
〃 体育館	H3	33年	75点	鉄骨造
五戸中学校 校舎	S52	47年	28点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	S54	45年	36点	鉄筋コンクリート造
川内中学校 校舎	S47	52年	45点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	H5	31年	65点	鉄筋コンクリート造
倉石中学校 校舎	S63	36年	82点	鉄筋コンクリート造
〃 体育館	S63	36年	75点	鉄骨造

5 各学校の位置



6 経緯

(1) 計画策定

令和3年	9月	第二次五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会設置
	〃	「五戸町立小・中学校の適正配置について」諮問
	〃	第1回検討委員会
	11月	第2回検討委員会
令和4年	2月	第3回検討委員会
	5月	第4回検討委員会
	6月	第二次五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会より答申
	11月	五戸町立小・中学校統合計画（素案）作成
令和5年	1月	五戸町立小学校・中学校統合計画（案）作成に係る保護者・住民説明会（第1回）[各小学校4校で実施]
	2月	町内の児童及び幼児の保護者から意見等収集
	3月	五戸町立小学校・中学校統合計画（案）作成に係る保護者・住民説明会（第2回）[五戸町立公民館で実施]
	〃	五戸町立小・中学校統合計画（案）作成
	4月	パブリックコメント実施・意見公表
	5月	五戸町立小・中学校統合計画策定・公表

(2) 計画改定

令和6年	7月	川内地区小学校適正配置検討委員会設置
		〃 第1回検討委員会
	10月	第2回検討委員会
		〃 川内地区小学校適正配置検討委員会より検討結果報告
	11月	五戸町立小・中学校統合計画（改定素案）作成
		〃 五戸町立小学校・中学校統合計画改定案の作成に関する保護者・住民説明会〔瑞穂館、町立公民館の2会場で実施〕
	11月～ 12月	保護者アンケート〔切谷内小学校、上市川小学校、川内こども園対象〕
	12月	第3回検討委員会
		〃 五戸町立小・中学校統合計画（改定素案）修正
令和7年	1月	五戸町立小学校・中学校統合計画改定案の作成に関する保護者・住民説明会（第2回）〔瑞穂館、町立公民館の2会場で実施〕
		〃 五戸町立小・中学校統合計画（改定案）作成
	1月～ 2月	パブリックコメント実施・意見公表
	月	五戸町立小・中学校統合計画改定・公表